

モデル事業名	遊休施設の有効活用デザインによるコミュニティの活性化事業
活動団体名	株式会社 巡の環
ホームページ	<a href="http://www.megurinowa.jp/">http://www.megurinowa.jp/</a>
所属/ 担当者名	高野 清華
連絡先	TEL:08514-2-1966 Email:info@megurinowa.jp
活動地域	島根県隠岐郡海士町

● 活動地域の概要

- ・ 隠岐諸島の1島1町の島、14地区
- ・ 昭和25年は人口7000人→現在は2400人まで減少
- ・ 高齢化率は約4割
- ・ 20～30代は2割未満
- ・ 年間の出生数は10人未満
- ・ 高卒者の9割以上は島外へ流出



【島根県隠岐諸島の1つの島】



【海士町（中ノ島）】



【活用されていない民具館の外観】



【放置されたままの民具の数々】

● 活動地域の課題

人口の約4割を占める高齢者の力を地域内で活かす場が少なく、昔からの貴重な知恵や技が失われつつある。またそうしたお年寄りの持つ力というのは大切な地域資源であるが、見える化されておらず、地域の暮らしの魅力を伝えるに至っていない。さらに現在活用されていない民具館には、300点以上の昔の道具が置かれているが、活かされておらず、放置されたままの状態になっている。このままだと道具と共にあった手仕事の文化が喪失される可能性があるが、未だ文化資源を保全する方法が見出されていない。

・平成21年度

- ①地域の食や、海・山・田畑しごとなどのお話を聞き書きし、記録する。
- ②地域の魅力を伝えるため、聞き書きした内容を小冊子やパネルにまとめ、見える形にする。
- ③島外からの訪問者や、島内の子どもたちが地域の伝統文化に触れる機会をコーディネートする。

## ● 活動の成果

### ・平成20年度

①地域の役場健康福祉課のみなさんと一緒にお年寄りから郷土料理を教わって食についての聞き書きを行ったり、観光協会のスタッフと地域資源を再発見するフィールドワークを実施することができた。

②遊休施設の活用の方向性についてのニーズを把握することができた。

③地元の小学校と連携して子どもたちのイカ割り体験や魚捌き体験を実施した。

以上を通して、町内の様々な団体との協働により、地域資源を活かした地域の活性化の可能性を見ることができた。



### ・平成21年度

①地域の暮らしの技や知恵についての聞き書きを実施している。

②再発見した地域資源を小冊子やパネルにまとめている。

③島外からの訪問者や島内の子どもたちが、遊休施設である民具館にて、昔の道具に触れる機会をコーディネートしている。



民具館で小学生たちが昔の道具の話を聞く様子

## ● 今後の課題及び展望

### ・課題

当初予定していたよりも、地域資源をまとめるという作業に時間がかかっている。例えば、お年寄りからの話を聞き書きし、テープ起こしを行い原稿を書いていくというのは地道な作業であるが、地域の魅力を再発見して伝えていくには大事な作業なので、引き続き取り組んでいきたい。

### ・展望

昔ながらの道具を使うワークショップを開催する予定をしている。子どもたちを中心として、お年寄りから岩海苔の作り方を教わり、現在失われつつある技に触れる機会を生み出していく。